

JREU TOKYO 業務部速報



2026.4.30 No.047

発行：JR東労組東京地本 業務部

人事制度改革に伴う体制の見直し及び運用改定について 首都圏本部より提案を受ける！！その③

組織再編後における事業本部内の業務単位の名称等について

名称等の読み方 業務单位名称 → A+B
対外的呼称 → A+C

上野事業本部

(A)	業務单位名称(B)	対外的呼称(C)
上野事業本部 設備部	保線技術 UT(新橋) 保線技術 UT(品川) など	保線技術 UT(新橋)フィールドオフィス 保線技術 UT(品川)フィールドオフィス など
	土木技術 UT	
	建築技術 UT	
上野事業本部 電気部	電力技術 UT(品川)	電力技術 UT 品川統括オフィス
	電力技術 UT(新宿)	電力技術 UT 新宿統括オフィス
	電力技術 UT(上野)	電力技術 UT 上野統括オフィス※
	信号通信技術 UT(東京)	信号通信技術 UT 東京統括オフィス※
	信号通信技術 UT(品川)	信号通信技術 UT 品川統括オフィス※

※上野電力設備技セ我孫子オフィスは「上野事業本部電気部電力技術 UT 我孫子オフィス」

品川信号通信設備技セの新宿メセは、「上野事業本部電気部信号通信技術 UT 新宿オフィス」のように呼称する。

提案当日の主な議論内容

● 業務単位や対外呼称について

- ・(B)の業務单位名称は業務機関コードに紐づくことを想定している。
- ・今後全社員には発令とは別に、(A)と(B)に加え業務内容が現場長等から伝えられる。例えば東京乗務ユニットの運転士として働く社員に対しては、「東京事業本部事業推進部の東京乗務で運転士を担ってもらう」と伝えられることになる。
- ・各フィールドセンターについては集約する予定である。
- ・行政へ提出する書類については事業本部長名となる。行政が混乱しないように考慮していく考えである。

● 東京総合車両センターの体制の変更について

- ・出面数の変更は東京総合車両センターのみ。入場計画や作業工程はすでに新制度を想定して計画済み。
- ・休日日数の増加と労働時間が1日あたり10分短くなることから、施工科の出面数として、田町派出の体制の見直しの後に一般/変形が9増加する。出面数と現在員数の数はイコールではない。
- ・現行の一般社員の日勤は8:40~17:10だが、出退勤時間はTKの総務課が主体となって決めていく。
- ・労働時間の10分短縮については、タクトの最初か最後をカットするのがわかりやすいと考えるが具体的に決まっていない。

その④へ続く